

第3次菊川市男女共同参画プラン 平成30年度 進捗状況

第3次菊川市男女共同参画プランでは、女と男がお互いを認め合い、協働して、自分らしく暮らすことができるまちを目指し、以下の3つを目標として男女共同参画事業に取り組んだ。

基本理念

女と男がお互いを認め合い、協働して、自分らしく暮らすことができるまち

基本目標

1. 女と男がお互いを認め合う意識づくり
2. 女と男がいきいきと活躍できる環境づくり
3. 女と男が安全安心に暮らせるまちづくり

【事業の実施状況】

プランに位置づけた事業数	117
◎(計画通り実施)	111
○(計画の一部実施)	2
△(問題があり実施できなかった)	1
-(その他)	3

進捗状況のまとめ

平成30年度は117事業のうち計画通り実施できた事業が111項目、一部実施事業が2項目、問題があり実施できなかった事業が1項目、その他が3項目であった。

審議会等への女性委員登用への呼びかけなど、各課が意識をして女性の参画を促した。

基本理念の実現に向けて、次年度以降は男女共同参画に関する広報及び啓発の強化やワークライフバランスの推進、男性の育児休暇取得など、目標値を達成できていない項目の解消に向けた取組みが一層求められる。

第3次菊川市男女共同参画プラン 平成30年度 事業進捗状況

◆プラン計画期間:2016～2021

事業実施状況(全117事業)		
(◎:計画通り実施、○:計画の一部実施、△:実施できなかった、-:その他)		
◎	111	事業
○	2	事業
△	1	事業
-	3	事業

基本目標1 女と男がお互いを認め合う意識づくり

基本施策(1) 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
1	幼児への男女共同参画啓発事業	地域支援課	地域支援課職員が各園を訪問し、読み聞かせを実施した。	◎	引き続き、読み聞かせを継続して実施する予定である。幼児施設連絡会で各園長へ説明し、事業の理解・協力を得ていく。
2	小学生への男女共同参画啓発事業	地域支援課	平成29年度から2年をかけて市内全小学校への職業講話を実施し、平成30年度は5校実施した。	◎	継続して実施する。
3	中高生への男女共同参画啓発事業	子育て応援課	常葉大菊川高校と連携して、事前学習と交流(8月に3回、12月に再会の日1回)を実施した。高校生20人4回、0歳児親子が平均14組参加した。	◎	継続して実施する。
4	男女の性差、相互尊重の意識高揚	学校教育課	男女相互の尊重について、道徳の時間等で実施された。	◎	継続して実施する。
5	思春期の健康教育	健康づくり課	市内中学校2校、小学校5校において、思春期保健教育を実施した。	◎	継続して実施する。
6	固定的な性別役割分担意識にとらわれない進路指導の充実	学校教育課	本人や保護者と面談を行い、本人や保護者の考えを尊重し、個に応じた進路指導を行った。	◎	継続して実施する。
7	教職員に対する男女共同参画の啓発	学校教育課	各校で人権の視点に立った研修が実施された。	◎	継続して実施する。
8	保育士等に対する男女共同参画の啓発	地域支援課	読み聞かせの実施後アンケートにより意識啓発を図った。	◎	引き続き幼児施設連絡会にて説明を行い、事業の協力を得て実施していく。
9	保護者に対する男女共同参画の意識啓発	地域支援課 社会教育課	小学生への職業講話において、保護者向けの資料を配布した。	◎	継続して実施する。

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
10	男女共同参画週間における啓発活動	地域支援課	市ホームページに掲載、市内公共施設で啓発グッズを配布した。また、6月23日に啓発イベントを開催した。	◎	より多くの来場者を集めるため、イベントについては学校の夏休みに開催する。
11	男女共同参画に関するまちづくり出前行政講座	地域支援課	小笠東地区コミュニティ協議会において、2月5日に男女共同参画プランについての出前講座を開催した。	◎	引き続きメニューに掲載し、開催する。
12	市民意識調査の実施	地域支援課	実施年度ではないので未実施。	—	令和2年度に実施予定。
13	広報菊川、ホームページ等への男女共同参画の情報発信の充実	地域支援課	市ホームページの更新を4回行った。広報菊川6月号、10月号に男女共同参画に関する情報を掲載した。	◎	ホームページの充実を図るとともに、前年度実施した内容を継続していく。
14	高齢者世代向けの男女共同参画の意識啓発	地域支援課	生涯学習推進員向けに男女共同参画の活動を紹介し、ジェンダーチェックを通して啓発を行った。	◎	継続して実施する。
15	図書館における意識啓発	図書館	男女共同参画週間(6/23～7/2)に本等の展示コーナーを設置した。	◎	継続して実施する。

基本施策(2) 男女の人権の尊重とあらゆる暴力の防止

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
16	人権擁護委員への男女共同参画の意識啓発	市民課	県等が主催する研修に参加し知識向上に努めた。	◎	継続して実施する。
17	人権擁護委員による啓発活動	市民課	保育園、小・中学校、高齢者施設、サロンで計11回の人権教室を開催し、人権の大切さを伝え、いじめや差別をなくすための啓発を行った。	◎	次年度計画では、前年度訪問していない幼、保、小・中学校、高齢者施設での人権教室を予定しており、それぞれの学齢や年齢層に見合った内容で人権教室を行う。今後もたくさんの方に人権について学んでもらい、新しい人権課題等も取り入れていく。
18	人権をテーマとした講演会等の開催	市民課	市単独でなく、掛川市にて開催した人権ネットでの講演会を共催した。また、菊川市主催でLGBT研修会を開催した。	◎	御前崎市にて開催する人権ネットでの講演会を共催し、聴講する。また、令和2年度に菊川市で開催する人権講演会の計画を行い、たくさんの方に来場してもらえるようなテーマを考える。

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	平成31年度に向けた見直し
19	人権相談事業の実施	市民課	行政相談員、民生委員と合同で、菊川地区及び小笠地区において、各月2回心配ごと相談を開催した。また、6月1日の人権擁護委員の日と、12月の人権週間の人権相談窓口を設け、相談に応じた。	◎	引き続き、今年度同様他の相談員と連携しながら、心配ごと相談を行う。また、人権擁護委員の日や人権週間についても、人権相談窓口を設けて相談に応じる。
20	LGBTに関する正しい理解と配慮の促進	学校教育課 地域支援課	各学校で人権教育を実施し性的少数者も含めた人権についての理解促進を図った。	◎	引き続き人権教育を実施する。
21	男女共同参画に関する相談窓口の周知	秘書広報課	年間を通して広報菊川に掲載した。	◎	引き続き掲載し、相談窓口を周知していく。
22	法識字※の強化 ※自らに保障された法律上の権利や、権利の侵害を受けた場合の対応についての正確な知識を得ることをいいます。	地域支援課	市ホームページに男女共同参画基本法についての概要説明を引き続き掲載した。その他各種支援制度等の紹介を継続して掲載した。	◎	今後も継続して男女共同参画に関する法律や支援制度をホームページへ掲載していく。
23	ハラスメント防止のための広報と啓発	地域支援課	市ホームページへ各種ハラスメントの紹介等を掲載し、閲覧を促すことで職員の意識啓発に努めた。	◎	引き続きチラシ配布、市ホームページへの情報掲載を継続する。
24	職場におけるハラスメント防止の意識啓発	地域支援課	部長会、課長会議にてハラスメントに関するDVD鑑賞とアンケートを実施した。	◎	継続して実施する。
25	DVに関する正しい理解の促進	福祉課 地域支援課	DVに関する啓発ポスターの掲示やカードを配架した。DV相談利用者にDVに関する資料を配布した。	◎	被害者や相談者への説明を継続していく。相談者のみに配布も継続して行う。
26	被害者の自立支援	福祉課	20件の相談受付を実施した。	◎	自立に向けた支援を実施する。
27	DV相談窓口の充実	福祉課	年間を通して広報菊川に掲載し相談窓口の周知を行った。	◎	継続して実施する。
28	児童虐待防止対策の充実	子育て応援課	関係機関向けに講演会を開催し、35名の参加があった。また、保育園、幼稚園、小学校、中学校の保護者に対し、啓発・相談紹介文書を配布した。	◎	11月に関係機関を対象に研修会を開催する。また、啓発文書等の配布も継続して行う。
29	要保護児童対策地域協議会を通じた情報交換	子育て応援課	要保護児童対策地域協議会を12回実施し、より密な情報共有・検討を実施した。	◎	引き続き年12回の協議会開催により、支援を要する子どもの情報共有を継続していく。

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
30	警察、医師会、弁護士会等との連携の強化	福祉課 長寿介護課	警察、医師会、弁護士会、司法書士会、社会福祉会とは、地域包括支援センターとともに、必要に応じ随時連携を図っている。	◎	今後共各機関との連携を図っていく。

基本施策(3) 男性にとっての男女共同参画の意識の醸成

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
31	お父さん子育て手帳の配布	社会教育課	4月19日開催の家庭教育学級開設説明会で配布を行った。	◎	冊子の在庫がある限りは継続して実施する。
32	イクメンの育成と促進	子育て応援課	父親の参加申込みが少ないことから、父親対象のイベントを廃止したが、児童館施設等の充実を図り、受入態勢を整えた。	△	継続して実施する。
33	男性の離乳食教室への参加促進	子育て応援課	離乳食教室を12回実施し、174名の参加があった。父親の参加は3名あった。	◎	継続して実施する。
34	男性が家事・育児・介護等に参画するための情報提供	地域支援課	男女共同参画ファミリーフェスタにおいて、男性の家事に関する講演を行った。	◎	継続して実施する。
35	男性職員の育児・介護に係る休暇取得の促進	総務課	対象者に対して休暇取得が促進されるよう個別の声かけを実施した。	◎	継続して実施する。
36	男性中心型労働慣行等の変革の推進	地域支援課 商工観光課	企業訪問時の啓発や企業アンケートでの設問設置及び現状把握を行うなど、意識の醸成を図った。	◎	継続して実施する。
37	男性の活躍事例等の情報提供	地域支援課	市ホームページに「男性の地域活動への参画好事例集」を掲載した。	◎	継続して実施する。
38	男性に対する相談体制の周知	地域支援課	市ホームページへ県の相談窓口を掲載した。	◎	継続して実施する。

基本目標2 女と男がいきいきと活躍できる環境づくり

基本施策(4) 女性の政策や方針決定過程への参画の推進

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
39	審議会等への積極的改善措置(ポジティブ・アクション)の周知	地域支援課	市ホームページに掲載した。また庁内会議各課に周知・協力を依頼した。	◎	引き続き積極的改善措置の周知を行う。
40	審議会等への女性委員の登用促進	全課	審議会等所管課へ女性委員の登用促進を依頼した。所管全課が人材の発掘や委員の職務規定の見直しの検討を行うまでには至らなかった。平成30年度女性登用率26.3%。	◎	該当する全課において女性委員の登用促進が行われるよう働きかけを行う。
41	委員選出時の女性登用の促進	全課	改選期にあたる団体等所管課が女性委員の登用促進を行った。平成30年度女性登用率26.3%。	◎	引き続き女性委員の登用に向けた働きかけを行う。
42	農業女性の技術講習会、経営研究会への参加の促進	農林課	ファーマーンプランの会(女性農業者団体)で5回の講習会(うち1回視察研修会)を実施。農業委員会と農業振興会の意見交換会にファーマーンプランの会から2名が出席した。女性の就農支援のための検討会へ新たに女性就農者3名が参加。「ふじのくに農業女子ゆめ未来ネットワークフォーラム」(県)が発足し、市女性農業者も参画。	◎	引き続き女性農業者の各種活動状況の情報を収集し、活動への参画を促進、
43	女性が起業するための支援	商工観光課	創業支援セミナー及び女性就労・就業支援事業でのセミナーを開催した。開催時には過去の女性受講者へも呼びかけるなど、事業参加を促した。	◎	継続して実施する。
44	就職のための学習機会の充実	商工観光課	女性向け就職相談窓口「なでしこワーク」を開設した。開催時間を午後から午前に変更することで利便性を図った。また、女性採用に対する企業側の意識啓発を目的とした企業者向けのセミナー含む、女性就労・就業支援事業を実施した。	◎	継続して実施する。
45	地域づくりに関する講座等への女性の参加の促進	地域支援課	市ホームページや市民協働センターのチラシ等で地域作りに関する講座を周知した。	◎	継続して実施する。

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
46	女性の活躍事例等の情報提供	地域支援課	市ホームページに県が実施するさくや姫プロジェクトに関する情報を掲載した。	◎	継続して実施する。
47	多様な研修による職員の意識の向上	総務課	県・3市合同・市単独による研修を実施。	◎	継続して実施する。
48	女性職員の各種研修期間等への派遣の促進	総務課	キャリア形成支援として、職員を選抜しリーダー育成分野の研修に女性職員を派遣した。	◎	継続して実施する。
49	女性職員の管理職・監督職への登用促進	総務課	平成31年度昇任・昇格者 部長昇格者 4名中女性0名 課長昇格者 10名中女性3名 主幹昇格者 6名中女性1名 係長昇任者 10名中女性1名	◎	引き続き資質を有する職員について、管理職・監督職への登用を図っていく。

基本施策(5) 職場における男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
50	男女共同参画社会づくり宣言事業所登録の促進	地域支援課	市ホームページに掲載、市内事業所に呼びかけ、平成30年度は宣言事業所が1件増えた。	◎	引き続き事業所や団体へ男女共同参画の意識啓発を促進していく。
51	企業等への積極的改善措置(ポジティブ・アクション)の啓発	商工観光課 地域支援課	企業訪問時の啓発や企業アンケートでの設問設置及び現状把握を行うなど、意識の醸成を図った。	◎	継続して実施する。
52	家族経営協定の締結の促進	農林課	家族経営協定締結家族増加に向け制度を啓発し、1件の新規締結し、2件相談を継続している。協定の締結家族数は増加した。	◎	引き続き家族経営協定の締結を促進していく。
53	均等・両立推進企業の普及促進	商工観光課	企業訪問時の啓発や企業アンケートでの設問設置及び現状把握を行うなど、意識の醸成を図った。	◎	継続して実施する。
54	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の取り組みの促進	商工観光課	企業訪問時の啓発や企業アンケートでの設問設置及び現状把握を行うなど、意識の醸成を図った。	◎	継続して実施する。
55	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の取り組みの促進	商工観光課	企業訪問時の啓発や企業アンケートでの設問設置及び現状把握を行うなど、意識の醸成を図った。	◎	継続して実施する。

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
56	事業所への男女共同参画の意識啓発	商工観光課 地域支援課	企業訪問時の啓発や企業アンケートでの設問設置及び現状把握を行うなど、意識の醸成を図った。	◎	継続して実施する。
57	市内企業アンケートの実施	地域支援課	実施年度ではないので未実施。	—	令和元年度に実施予定。
58	育児休業者の職場復帰支援	総務課	育児休業者への情報提供を毎月実施した。	◎	引き続き育児休業者への情報提供を1回/月実施していく。
59	職員人事意向調査の実施	総務課	医療職、消防職を除く全職員を対象とした意向調査を1回実施した。	◎	引き続き医療職、消防職を除く全職員を対象とする意向調査を実施していく。
60	次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画の実施	総務課	出産休暇中の職員への情報提供など計画に基づき実施しているが、男性職員の育児休業の取得促進など、目標値を達成できていない項目があった。	○	実施状況を把握し、計画された取り組みを推進していく。
61	女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画の実施	総務課	主任主査級の女性職員の割合増加の目標は達成できたが、男性職員の育児休業の取得促進など目標値を達成できていない項目があった。	○	実施状況を把握し、計画された取り組みを推進していく。
62	働き続けるための相談、復職のための相談への対応	総務課	人事担当部署で相談できる体制をとり、職員の相談に随時対応した。	◎	引き続き人事担当部署での相談体制を維持していく。
63	職員を対象とした研修会の実施	地域支援課	1月9日(水)の菊川市・御前崎市共同イクボス宣言式に合わせ、職員一人一人が生き生きと活躍できる職場環境を整備することを目的にイクボス講演会を実施した。	◎	課長職以上の職員を対象とした研修を継続して実施する。
64	職員を対象とした意識調査の実施	地域支援課	実施年度ではなかったため実施しなかった。	—	令和2年度に実施予定。

基本施策(6) 男女共同参画によるワーク・ライフ・バランスの実現

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
65	リフレッシュ・一時保育の充実とファミリーサポートセンターの利用促進	こども政策課 子育て応援課	リフレッシュ・一時保育 幼児教育課、けやき子育て相談窓口の2箇所申請受付を行い、延べ1,702件の利用があった。 ファミリーサポートセンター 市ホームページで周知、パンフレット配布などを実施を行い、延べ33件の利用があった。現在依頼会員46名、提供会員17名、両方会員7名の登録がある。(H31年3月末)	◎	継続して実施する。
66	延長保育及び放課後児童クラブの実施	こども政策課	・延長保育の実施:引き続き市内7園で実施した。 ・放課後児童クラブの運営:引き続き市内9か所で実施した。	◎	継続して実施する。
67	児童館・子育て支援センターの事業の充実	子育て応援課	利用者のニーズを把握、事業内容の充実を図ったことにより利用者増となった。	◎	継続して実施する。
68	放課後等デイサービス事業の充実	福祉課	事業の周知・認知されたことにより、利用者数が増加している。 (支給決定者数:118人)	◎	継続して実施する。
69	育てにくさを感じている保護者への継続的な支援とその充実	子育て応援課	1歳児のお誕生日広場・1歳6か月健診後の親子教室や、療育教室(未就園児・就園児)を実施した。	◎	早期に関わることで安心して子育てができるよう、教室内容の質の向上に努めたり、他課と連携し切れ目のない支援をしていく。
70	子育てに関する相談窓口の周知と活用	子育て応援課	相談窓口の周知を継続し、相談実人数は222名(H31年3月末)であった。	◎	引き続き関係機関と連携を図り相談対応していく。
71	子育てサークルの充実に向けた活動の広報と周知	子育て応援課	活動団体1団体(のいちご会)子育てナビへの情報掲載や、児童館を通じて活動場所の提供を実施した。	◎	継続して実施する。
72	子育てに関する講座の開催	子育て応援課	各子育て支援センターで子育て及び子育て支援に関する講習会などを定期的実施し、親の子育て力を高める活動、親のリフレッシュ活動、子どもとのふれあいを楽しむ活動を通して子育ての楽しさを実感してもらった。	◎	継続して実施する。

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
73	子育て世代への子育て情報の提供	子育て応援課	子育て情報ナビを福祉課、健康づくり課、図書館、児童館、中央公民館、小笠支所にて配布し、転入者にも案内チラシ等を配布した。	◎	民生委員・児童委員としての訪問活動は実施していく。 地域包括支援センターとしては、民生委員・児童委員連絡会の実施、高齢者見守り協力機関・団体への情報発信、連携を引き続き行っていく。
74	親子ふれあいの場の提供	子育て応援課	各児童館・子育て支援センターで親子交流事業を定期的を実施した。	◎	継続して実施する。
75	放課後子ども教室事業の実施	社会教育課	市内全9小学校で4月から順次子ども教室を開設した。	◎	市内9小学校の放課後子ども教室を継続して実施する。
76	プレママ・プレパパサロン教室	子育て応援課	プレママ&パパサロンを4回実施し、55名が参加し、夫婦での参加は25組あった。	◎	継続して実施する。
77	こども医療費の助成	子育て応援課	延104,054件、197,815,929円の助成をした。	◎	継続して実施する。
78	ブックスタートの充実	図書館	7か月児相談時にブックスタート事業を行った。(平成30年度実施数427人)	◎	継続して実施する。
79	お話会の充実	図書館	すいようおはなし会(各館週1回年100回)、0.1.2おはなし会(菊川月2回小笠月1回年34回)、日曜おはなし会(各館月1回年24回)実施。	◎	継続して実施する。
80	介護教室の開催	長寿介護課	家族介護教室として「介護者のつどい」を3回実施した。介護者の情報交換の場として「またきてカフェ」の中で介護なんでもおしゃべり会を4回開催し、介護者同士の交流を図った。	◎	介護者のつどいを年3回実施する。またきてカフェの中で介護者同士の交流の場を設定する。
81	介護マークの普及・啓発	長寿介護課	ケアマネ協議会や認知症サポーター養成講座等で周知し、6個を配布したが、男性にはその内3個を配布した。	◎	引き続き介護者のつどいやケアマネ連絡会、実施事業を通じて市民へ周知していく。
82	介護サービス基盤の整備	長寿介護課	居宅介護支援事業所及び地域密着型サービス事業所の実地指導を9件行った。	◎	引き続き居宅介護支援事業所及び地域密着型サービス事業所の適正な管理指導を行う。

基本施策(7) 地域社会における男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
83	地域活動への円滑な参画の促進	地域支援課	広報菊川12月号にて市民協働センターの記事を掲載した。	◎	継続して実施する。
84	地域活動に参画する人材の育成	地域支援課	地域活動に参画する人材やリーダーの育成のため、きくがわ未来塾、セカンドライフセミナーを開催した(市民協働センター委託事業)。	◎	引き続き、地域活動に参画する人材やリーダーの育成のため講座を開催する。
85	男女共同参画の視点に立った地域活動の推進	地域支援課	会議等の開催について極力、平日の夜間や土日に開催した。	◎	今後も引き続き地域住民が参加しやすい活動日を設定する。
86	コミュニティ協議会への女性の参画の促進	地域支援課	各地区定例会において登用について呼びかけをお願いした。	◎	継続して実施する。
87	自治会における女性委員の登用啓発と促進	地域支援課	連合自治会において、翌年度の自治会役員選出依頼時に女性登用のお願いをした。	◎	自治会長に限らず自治会には各種役員があることから、少しでも多くの女性が登用されるよう啓発をしていく。

基本目標3 女と男が安全安心に暮らせるまちづくり

基本施策(8) 防災における男女共同参画の推進

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
88	防災分野における女性の参画の推進	危機管理課 消防本部	自主防災会への女性の参画を促している。また、男女共同参画の視点に配慮した様々な課題解決の取り組みを促進する為、実際の活動で活かせる取り組みとしてセミナーを開催した。テーマ:災害とジェンダー「男女共同参画から考える避難所運営」の講演会を実施した。被災者の半数は女性であり、女性でないといけないことが数多くあり、多様な視点で防災対策を進めることが被害を小さく留めることになるという内容について学んだ。	◎	引き続き、自主防災会や避難所運営委員会などへの女性の参画依頼を行っていく。また、今後も継続して防災講演会を開催することで、家庭や地域における更なる防災意識の向上を図る。
89	男女共同参画の視点による防災活動の啓発や情報提供	危機管理課	防災講演会を開催した。避難者の半数は女性であることから、女性目線の避難所運営の重要性について学んだ。	◎	継続して実施する。

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
90	男女のニーズの違いに配慮した備蓄品等の配備の促進	危機管理課	「菊川市防災備蓄計画」に基づき、女性に配慮した備蓄品目(生理用品等)を購入した。	◎	備蓄の目標に沿って、備蓄量を達成するよう努める。社会情勢や防災会議に参加した女性役員からニーズ調査を行い、適宜見直しを図る。

基本施策(9) 男女の生涯を通じた健康支援

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
91	小・中学校における性教育の推進・充実	学校教育課	学級活動の時間を中心に各校で計画的に行われた。	◎	引き続き実施していく。
92	思春期保健対策	健康づくり課	養護教諭と講師(菊川総合病院助産師)と調整会議を行い、市内2中学校、市内小学校で希望のあった5校においても、思春期講演会を実施した。	◎	引き続き、中学校、小学校において、思春期教育を開催する。
93	性と生殖の健康・権利に関する啓発	健康づくり課	成人式でHIVについてのパンフレットを配布した。	◎	成人式でのHIVについてのパンフレット配布を継続する。
94	健康に関する相談窓口	子育て応援課	乳幼児健康相談は年間36回、計測日を年間12回実施し、1,897人が利用した。成人健康相談は12回実施し、182人が利用した。健康チェックの日498人が利用した。	◎	継続して実施する。
95	こころの健康に関する啓発及び支援	健康づくり課	9月にストレスとうつについての講演会には66人、ゲートキーパー研修には111人の参加があった。自殺予防週間に、啓発グッズと相談窓口一覧を400人に配布した。	◎	継続して実施する。
96	女性特有の病気を含めた各種検診	健康づくり課	総合検診として、胃がん検診は2,002人、大腸がん検診は3,465人、胸部検診は2,626人、子宮頸がん検診は2,070人、乳がん検診は2,148人、前立腺がん検診は980人実施した。	◎	検診を受診しやすいよう検診の日程や休日の検診実施日を増加する。
97	成人健康教育	健康づくり課	健康づくり推進委員研修、栄養教室や出前講座などの集団の健康教育を185回実施し、4,523人が利用した。	◎	継続して実施する。
98	妊産婦の飲酒、喫煙、受動喫煙、母体への影響などに関する啓発	子育て応援課	母子手帳交付時に飲酒、喫煙状況を確認し、指導を行った。	◎	母子手帳の交付時の指導は引き続き行い、プレママ&プレパパサロンでも実施していく。

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
99	妊婦健診の助成	子育て応援課	妊婦健康診査の助成を実施した。	◎	H31.4より産婦健康診査2回分が追加される。
100	不妊に関する啓発	子育て応援課	不妊・不育治療費助成のチラシをけやきに配架。平成29年度の申請があった医療機関に案内チラシなどを配布した。「広報きくがわ」に治療費助成についての掲載をした。	◎	継続して実施する。
101	不妊治療費助成事業	子育て応援課	不妊治療費助成は73件、不育治療費助成は1件の申請があった。	◎	継続して実施する。
102	母性健康管理指導事項連絡カードの普及	子育て応援課	母子手帳交付時に連絡カードを配布した。	◎	継続して実施する。
103	乳児家庭訪問	子育て応援課	新生児訪問を実施した。訪問対象441人、実施人数427人(実施率96.8%)	◎	継続して実施する。
104	ことぶき講座の実施	社会教育課	菊川会場27名、小笠会場18名の参加があり、出席率は約8割であった。男性の受講者は1名であった。	◎	男女ともに興味を持ってもらえるよう、受講内容の見直しを図る。
105	民生委員・児童委員による高齢者世帯の訪問事業	福祉課	高齢者宅への訪問は、各民生委員が実施。状況に応じ、福祉課や地域包括支援センターと連携を図っている。	◎	民生委員・児童委員としての訪問活動は実施していく。
106	高齢者世帯への支援	長寿介護課	民生委員・児童委員との連携については、日頃の相談や訪問の際、状況に応じ協力しながら高齢者の支援を行っている。平成30年度においても連絡会を開催し、高齢者支援に関する情報提供を行った。高齢者見守り協力機関・団体に対しては、高齢者見守り情報！「みんなの目」を年4回発行し、高齢者事業や制度に関する情報提供を行った。	◎	民生委員・児童委員とは、今後も連絡会・情報交換会を開催し、顔の見える関係をつくり連携を密にしていく。高齢者見守り協力機関・団体には、情報提供を継続するとともに、協力機関・団体の増加について引き続き取り組んでいく。
107	介護予防普及啓発事業の実施	長寿介護課	介護予防普及啓発事業として100回、地域介護予防活動支援事業等で71回地域リハビリテーション活動支援事業として6回実施した。	◎	継続して実施する。

基本施策(10) 様々な困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備

ID	事業名	担当課	平成30年度実施報告	評価	令和元年度に向けた見直し
108	母子家庭等医療費助成事業	子育て応援課	延べ3,709件、8,899,569円を助成した。	◎	継続して実施する。
109	児童扶養手当事業	子育て応援課	延べ2,889人、112,303,540円を助成した。	◎	継続して実施する。
110	自立支援教育訓練給付の実施	子育て応援課	保育士の資格取得のための専門学校へ通学。高等職業訓練促進給付金を住民税非課税世帯月額70,500円×12ヶ月を支給し、当該終了支援給付金を25,000円支給した。	◎	継続して実施する。
111	ひとり親家庭の相談支援	子育て応援課	相談支援の実施をした。	◎	継続して実施する。
112	要保護・準要保護児童生徒の世帯に対する就学援助	教育総務課	H30年度は要保護児童生徒で支給対象となる児童生徒がおり、支給を行った。 引き続き、就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費等の援助をする。 要保護児童生徒人数 中学校:2名 準要保護児童生徒人数 小学校:68名、中学校:53名(H31.4.10現在)	◎	小・中学生新1年生に対し就学援助のチラシを配布し、周知をした。今後も周知していく。
113	不就労状態にある若者への支援	商工観光課	若者就労支援団体等が行う支援事業に係る周知等の支援を行った。	◎	継続して実施する。
114	高齢者配食サービス事業の実施	長寿介護課	H30年度は9,935回実施。継続して実施する。	◎	現在3社と契約している。引き続き昼食の配達をしながら高齢者の見守りを行っていく。
115	認知症サポーターの養成	長寿介護課	養成講座を年19回行った	◎	継続して実施する。
116	生活管理指導員派遣事業の実施	長寿介護課	総合事業の訪問介護相当サービスで498回、訪問型軽度生活援助サービスで60回実施した。	◎	引き続き、総合事業のサービスとして実施していく。
117	外国人住民への支援	地域支援課	行政文書の多言語化等実施した。	◎	継続して実施する。

第3次菊川市男女共同参画プラン 平成30年度 指標進捗状況

◆プラン計画期間: 2016~2021

基本理念 女と男がお互いを認め合い、協働して、自分らしく暮らすことができるまち

基本目標1 女と男がお互いを認め合う意識づくり

基本施策(1) 男女共同参画社会の実現に向けた意識改革

区分	項目	プラン策定時(H27)	H28	H29	H30	R1	R1 (中間目標)	R2	R3	R3 (最終目標)	担当課
成果指標 ※1	「男は仕事、女は家庭」という考えについて「反対である」「どちらかといえば反対である」と答える人の割合(男女共同参画に関する市民アンケート)	40.4%	—	—	—	—	—	—	—	43.0% ※3	地域支援課
	男女が個人として尊重され、ともに個性や能力を発揮できるまちだと思ふ人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	48.5%	—	—	39.3%	—	54.6%	—	—	57.6%	地域支援課
活動指標 ※2	幼児への男女共同参画啓発事業の実施園数	15園	15園	15園	15園	—	15園	—	—	15園	地域支援課
	男女共同参画に関する広報・HP等への年間掲載回数	1回	1回	8回	6回	—	6回	—	—	10回	地域支援課
	思春期の健康教室の実施回数	3回	3回	6回	7回	—	5回	—	—	7回	健康づくり課

※1 成果指標: 取り組みの結果、何がどうなったかを示すもので、目的や目標の達成状況を把握するために設定します。

※2 活動指標: 成果指標の達成に向けて、何をどれくらい取り組んだのかを示すもので、目的や目標の進捗状況を把握するために設定します。

※3 男女共同参画に関する市民アンケートについては令和2年度に実施予定

基本施策(2) 男女の人権の尊重とあらゆる暴力の防止

区分	項目	プラン策定時(H27)	H28	H29	H30	R1	R1 (中間目標)	R2	R3	R3 (最終目標)	担当課
成果指標	これまでに暴力について誰かに打ち明けたり、相談したことがある人の割合(男女共同参画に関する市民アンケート)	65.9%	—	—	—	—	—	—	—	79.8% ※	地域支援課
	セクハラ・パワハラを受けた人の割合(男女共同参画に関する市民アンケート)	9.9%	—	—	—	—	—	—	—	8.1% ※	地域支援課
活動指標	人権教室の開催件数	7回	5回	8回	10回	—	7回	—	—	7回	市民課
	DVリーフレットの作成	未実施	未実施	実施	継続	—	実施	—	—	実施	福祉課

※ 男女共同参画に関する市民アンケートについては令和2年度に実施予定

基本施策(3) 男性にとっての男女共同参画の意識の醸成

区分	項目	プラン策定時(H27)	H28	H29	H30	R1	R1 (中間目標)	R2	R3	R3 (最終目標)	担当課
成果指標	ブレママ・プレババサロンへ夫婦で参加した人の割合	61.1%	89.6%	86.0%	83.3%		63.1%			65.0%	健康づくり課
	男性の「育児休業」取得について賛成する人の割合(男女共同参画に関する市民アンケート)※1参考数値	71.7%	—	—	—	—	—	—	—	76.7% ※2	地域支援課
	男性の「介護休業」取得について賛成する人の割合(男女共同参画に関する市民アンケート)※1参考数値	79.6%	—	—	—	—	—	—	—	82.1% ※2	地域支援課
活動指標	大人の男性の児童館来館者数 ※3	—	—	—	1,668人		1,470人			1,540人	子育て応援課
	男性中心型の働き方を変えるための企業等への啓発回数	1回	1回	1回	1回		2回			2回	商工観光課

※1 H27年度男女共同参画に関する県民意識調査 問12「積極的に取ったほうがよい」、「どちらかといえば取ったほうがよい」の合計

※2 男女共同参画に関する市民アンケートについては令和2年度に実施予定

※3 父子ふれあい教室が事業見直しにより取りやめとなったため、H30から修正

基本目標2 女と男がいきいきと活躍できる環境づくり

基本施策(4) 女性の政策や方針決定過程への参画の推進

区分	項目	プラン策定時(H27)	H28	H29	H30	R1	R1 (中間目標)	R2	R3	R3 (最終目標)	担当課
成果指標	審議会等への女性の登用率(男女共同参画関係施策推進調査状況)	26.5%	26.0%	25.5%	26.3%		30.0%			33.0%	地域支援課
	市内事業所における女性の管理職(課長相当職以上)の割合(事業所アンケート)	6.2%※1	9.6%	—	—		12.0%			15.0%	地域支援課
	市の職員の主任主査級における女性職員の割合	34.6%	40.0%	43.1%	46.2%		38.0%			40.0%	総務課
活動指標	就労・就業支援事業の開催数	1事業	1事業	2事業	2事業		2事業			2事業	商工観光課
	委員選出時の女性参画の呼びかけ回数	新規	該当する全ての課が呼びかけ	該当する各課1回	該当する全ての課が呼びかけ		各課1回			各課2回	全課(地域支援課)

※1 平成25年度の実績値

※事業所アンケートについては令和元年度に実施予定

基本施策(5) 職場における男女共同参画の推進

区分	項目	プラン策定時(H27)	H28	H29	H30	R1	R1 (中間目標)	R2	R3	R3 (最終目標)	担当課
成果指標	男女共同参画社会づくり宣言事業所の団体数	15団体	23団体	24団体	25団体		27団体			31団体	地域支援課
	育児休業制度を導入している事業所の割合(事業所アンケート)	89.7%	77.8%	—	—		91.7%			92.7%	地域支援課
	介護休業制度を導入している事業所の割合(事業所アンケート)	79.5%	63.5%	—	—		81.5%			82.5%	地域支援課
活動指標	宣言事業所登録促進のための啓発件数	1回	1回	1回	1回		2回			2回	地域支援課
	事業所の行動計画促進のための啓発件数	1回	1回	1回	1回		2回			2回	商工観光課

※1 平成25年度の実績値

※事業所アンケートについては令和元年度に実施予定

基本施策(6) 男女共同参画によるワーク・ライフ・バランスの実現

区分	項目	プラン策定時(H27)	H28	H29	H30	R1	R1 (中間目標)	R2	R3	R3 (最終目標)	担当課
成果指標	「ワーク・ライフ・バランス」の内容を知っている人の割合(男女共同参画に関する市民アンケート)	11.4%	—	—	—		—			14.1%	地域支援課
	安心して子どもを育てられるまちだと思ふ人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	82.4%	—	—	77.8%		84.5%			85.5%	子育て応援課
	高齢者とその家族を支える介護サービスが充実していると感じる人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	55.9%	—	—	53.8%		59.9%			61.9%	長寿介護課
活動指標	プレママ・プレパパサロン教室の実施回数	3回	3回	3回	4回		3回			3回	健康づくり課
	放課後子ども教室事業の開設校数	7校	8校	9校	9校		9校			9校	社会教育課
	介護教室の実施件数	3回	3回	3回	3回		3回			3回	長寿介護課

※ 男女共同参画に関する市民アンケートについては令和2年度に実施予定

基本施策(7) 地域社会における男女共同参画の推進

区分	項目	プラン策定時(H27)	H28	H29	H30	R1	R1 (中間目標)	R2	R3	R3 (最終目標)	担当課
成果指標	自治会における女性自治会長の人数	1.5%	3.9%	2.3%	0.8%		7.2%			10.0%	地域支援課
	自治会における女性副自治会長の人数	2.2%	1.5%	0.0%	1.6%		7.4%			10.0%	地域支援課
	コミュニティ協議会における女性役員的人数	11.6%	11.9%	12.2%	12.4%		20.5%			25.0%	地域支援課
	家庭における夫婦の役割分担の現状について「地域行事への参加」夫婦が共同で行っている場合の割合(男女共同参画に関する市民アンケート)	72.3%	—	—	—		—			78.0%	地域支援課
活動指標	地域活動に関する講座の開催数	2事業	3事業	3事業	3事業		3事業			4事業	地域支援課
	コミュニティ協議会への女性の登用についての呼びかけの回数(各コミ協)	1回	1回	1回	1回		2回			3回	地域支援課

※ 男女共同参画に関する市民アンケートについては令和2年度に実施予定

基本目標3 女と男が安全安心に暮らせるまちづくり

基本施策(8) 防災における男女共同参画の推進

区分	項目	プラン策定時(H27)	H28	H29	H30	R1	R1 (中間目標)	R2	R3	R3 (最終目標)	担当課
成果指標	自主防災会役員に占める女性の割合	0.8%	1.6%	1.6%	1.6%		上昇			上昇	危機管理課
	防災講演会等への出席者に占める女性の割合	28.8%	58.5%	96.0%	38.0%		31.9%			35.0%	危機管理課
活動指標	男女共同参画の視点を含んだ防災講演会等の開催件数	1回	1回	1回	1回		1回			2回	地域支援課

基本施策(9) 男女の生涯を通じた健康支援

区分	項目	プラン策定時(H27)	H28	H29	H30	R1	R1 (中間目標)	R2	R3	R3 (最終目標)	担当課
成果指標	健診や健康相談など病気の予防対策が充実していると思う人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	65.5%	—	—	61.0%		68.6%			71.6%	健康づくり課
	市の要介護認定率	14.8%	14.1%	13.9%	13.6%		15.8%			16.2%	長寿介護課
活動指標	がん検診の受診者数	14,369人	13,648人	13,300人	13,291人		14,685人			15,000人	健康づくり課
	乳幼児、成人健康相談、健康チェックの日の利用者	1,937人	2,233人	2,472人	2,577人		1,980人			2,010人	健康づくり課
	乳児への訪問指導の割合	97.9%	94.7%	95.4%	96.8%		維持			維持	健康づくり課
	介護予防普及啓発事業の実施回数	114回	174回	171回	183回		118回			120回	長寿介護課

基本施策(10) 様々な困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備

区分	項目	プラン策定時(H27)	H28	H29	H30	R1	R1 (中間目標)	R2	R3	R3 (最終目標)	担当課
成果指標	障がいのある人が安心して暮らしていけるまちだと思える人の割合(満足・やや満足の合計)(市民アンケート)	43.5%	—	—	40.1%		49.7%			52.8%	福祉課
活動指標	認知症サポーターの養成人数(延べ)	2,000人	2,340人	3,112人	3,659人		2,600人			3,000人	長寿介護課